

令和2年度 微生物学教科担当教員会議 議事録

日時：令和3年6月26日（土）10：00～11：07

場所：オンライン開催（ホスト：広島大学）

参加者：74名

講演：新型コロナウイルスに関する薬学部での教育
東北医科薬科大学 久下周佐 先生

久下先生より、新型コロナウイルスの性状や疫学情報、ワクチンに関する知見を最新の情報を交えてお話しいただいた。

議題

1. 令和3年度微生物学教科担当教員会議事務局について
広島大学 黒田照夫 先生
世話人代表より、令和3年度の事務局は打矢恵一先生（名城大）に務めていただくことが報告された。打矢先生からは第142年会や次期教員会議に関して説明がなされた。
2. 教科担当教員中央会議について
広島大学 黒田照夫 先生
世話人代表より、令和2年度の中央会議は開催されなかったこと、令和3年度中央会議が6/17にオンラインで開催されたことが報告された。
3. 微生物シンポジウムについて
愛知学院大学 河村好章 先生
 - 令和2年度 第32回微生物シンポジウム報告
北里大学 岡田信彦 先生
 - 令和3年度 第33回微生物シンポジウム案内
鈴鹿医療科学大学 中山浩伸 先生
 - 令和4年度 第34回微生物シンポジウムについて
慶應大学 金倫基 先生岡田先生より第32回微生物シンポジウムに関する報告があった。中山先生より第33回の準備状況の説明があり、ハイブリッド開催となる予定であることが報告された。第34回は金先生（慶應大学）が世話人を務めることが報告された。
4. 教育に関して
同志社女子大学 川崎清史 先生
川崎先生より、資料に基づき大学内の講義・実習に関するアンケートの報告がなされた。それぞれの大学で工夫を凝らしていることが確認できた。

5. 研究に関して

東北医科薬科大学 久下周佐 先生

久下先生より、薬学部において細菌学（真菌、寄生虫を含む）、ウイルス学、感染症・免疫学を研究テーマとした教員が在籍する大学数を集計した資料に基づき説明があり、ウイルス学を研究テーマとする大学は 30%以下で、すべての研究領域を対象とする大学は多くないことが紹介された。

6. 共用試験に関して

世話人代表より、野口先生（東京薬科大学）から山中浩泰先生（広島国際大）に共用試験担当が交代となったことが説明された。山中先生よりご挨拶があった。

7. その他

モデル・コアカリキュラムの改訂が今年度及び来年度おこなわれることに際し、世話人代表や共用試験担当より、先生方への協力依頼があった。

（文責 広島大学・黒田照夫）